

第 2 回 研究会 報告

第 2 回研究会は、11 月 29 日にみよし市図書館学習交流プラザ「サンライズ」にて実施しました。前半は、「魅力ある学校図書館をめざして——ベテラン教員の立場から」という題で、県立三好高等学校、成田和憲教頭先生から講話をいただきました。図書管理システム Noah の作成にも携われた成田教頭先生の講話は大変興味深いものでした。貸出冊数をやみくもに伸ばすのではなく、と



にかく図書館に生徒達が足を運ぶための工夫をする、ということを強調されていました。具体的には、「教員・保護者を巻き込んでの展示会」「季節の飾り付け」「パソコンの設置」「図書の購入はこまめに」「図書の廃棄はまとめて」「図書委員に大きな企画を」など、様々な視点から紹介していただきました。今後の実践に生かしていこうと思えるようなアイデアばかりで、図書館の運営に悩む私達にとって、勇気づけられるお話でした。

後半は、みよし市図書館の職員による館内ガイドツアーでした。それとともに、図書館の設備を専門に担当しているキハラ株式会社の方から設備の説明もありました。平成 28 年 7 月にオープンしたばかりの図書館で、広々とした空間や、読書テラスなど、図書に親しめるような空間作りが印象的でした。

第 3 回 研究会 報告

第 3 回研究会は、1 月 25 日におおぶ文化交流の杜図書館で実施しました。前半の研究協議は、事前アンケート結果による情報交換会でした。事前アンケートでは「来館者増加」「展示・催し」「図書選定・蔵書管理・廃棄」についての質問が多く、その話題を中心として、4 つのグループに分かれて行いました。それぞれのグループで時間いっぱいまで、活発に意見交換が行われ、有意義な時間となりました。各グループで協議した内容を共有する時間では、来年度のこの研究会に望むことなどにも話が及びました。



後半は、おおぶ文化交流の杜図書館の職員による館内ガイドツアーでした。普段は見ることのできない開架書庫で、自動運転で図書を探し出す仕組みや、返却もカウンターを通らずに、自動でできる機械などを見せていただきました。また、予約棚という、貸出準備のできた予約本を自分自身で貸出手続きを行うコーナーは、他の図書館にはないシステムで興味深かったです。展示物や空間の使い方などの工夫から学ぶべきことも多く、貴重な機会となりました。